

釣石神社

釣石神社の御神体は、14 メートルの大きな石で、この石は杉で覆われた丘の側面に危なっかしいバランスで置かれています。知識の神が宿っていると言われるこの巨石は、その重みを支えている止まり木から今にも転げ落ちそうですが、2011 年の東日本大震災の大きな揺れにも耐え、古くからこの場所に存在し続けています。多くの学生が試験で良い結果を出せるように祈りにやってきます。日本語では物が「落ちる fall」と試験に「落ちる fail」は同じ語なので、この石にあやかって、彼らは勉強や試験に「落ちない」ことを願っています。

北上川に近い釣石神社は、年間を通して川岸のヨシ原から収穫されたヨシで飾られています。釣石神社では学業成就のお守りと、参拝者が神の助けを得て実現したい自分の願いや夢を書く絵馬も販売しています。